2009-10年度今治ロータリークラブ週報　No.9

第９回例会報告（9月3日）

【　出　席　報　告　】

・会員数　５５名　・出席数　３８名　・欠席数　１７名
・当日出席率　８３．７２％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞原(竜)、檜垣(巧)、飯、松田、光藤、竹田、瀧幸
〔免除会員〕青野、原(真)、原田、門田、松本、宮本、村上(敬)、坂本、渡邉(一)、八木
＜8/20欠席補填＞(8/10今治北)檜垣(俊)、檜垣(巧)、平井、近藤(浩)、松木、大澤、竹田、瀧幸

◇**幹事報告**・次週は９月10日（木）は月見夜間例会です。18：30より笹にて開催致します。

外部卓話

元大王製紙代表取締役社長　大澤保氏　「チリの植林事業について」

大澤保氏は、大王製紙代表取締役時代、パルプ原料の輸入の関係で南米（チリ・ペルー・アルゼンチン）へ行かれることが多く、そのご経験から貴重なお話をいただきました。▼仕事で南米に行き、パルプ関係の国際会議等に出席すると、外国参加者達から必ずといっていいほど「日本の豊かな森林資源を生かし、なぜそれをパルプ原料にして自国で間に合わせないのか」と。日本での森林は、国土の保水力の関係上災害防止の役割があるので、パルプ原料に森林伐採は出来ないと答える。▼諸外国、特にアメリカにおいての紙の使用量は、一般的に国土・人口において差が出てくるが、その使用量の差を決定付ける要因のひとつとして、コンクリートの運搬方法の違いからくる。日本では、コンクリートを運搬するとき、コンクリートミキサー車に積み込んでの運搬となるが、アメリカでは、コンクリートの原料を紙袋に詰めての運搬となり、紙の使用量は個人レベルでの使用というより、産業面での差が大きく出ている。▼その他、南米においては森林火災防止の為、専属の警備隊、及び火災防止対策がしっかりと整備されている。▼南米の中でも、チリの特徴としてチリ国民は、水代わりにワインを摂取し、日本でも比較的お手軽な価格でチリワインを飲むことが出来る。また、女性は黒髪で、目鼻立ちがはっきりした美人が多く、チリの女性と結婚した社員もいる。地理的には、細長い国土を特徴としている為、山を見るとアンデス山脈には雪がかかり、スキーを楽しみ、海では海水浴が楽しめる。▼本日は、皆さんのお話を伺うと、ご旅行でも南米へは行かれた経験がないということで、私の仕事を通じてお話させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

＜ゲスト＞　元大王製紙　代表取締役社長　大澤 保 氏　　米山奨学生　張 婷 さん
＜ビジター＞大阪西RC　桑森 章様　＜弁護士＞

次回例会（9月１０日）

【　月見夜間例会　】

日　時　：　２００９年9月１０日（木）１８：３０より
場　所　：　笹　（ＴＥＬ：２３－０００１）

※お土産のお団子をご用意しております。